

令和 9 年度新規課題公募説明会（第 2 回）

「令和9年度新規課題公募における行政要請研究テーマ（行政ニーズ）について」スケジュール

※当日の進行によって多少前後する場合があります。

開始	終了	グループ	担当部会	行政要請研究テーマ名	公募要領 別添1掲載No.	公募要領 別添1掲載ページ
13:00	13:04	①	統合	持続可能な社会に向けた行動変容に関するメカニズム解析	1-1	P.22
13:04	13:08		統合	里海づくりに資する沿岸域の環境適性評価手法の開発	1-2	P.22
13:08	13:12		統合	良好な環境づくりの取組効果を評価する手法の開発に関する研究	1-3	P.23
13:12	13:16		統合	閉鎖性海域（有明海・八代海等）における気候変動や社会経済情勢変化による海域環境・生態系への影響評価	1-4	P.23
13:16	13:20		統合	地域活性化（利用）施策に関する国立公園制度への新たなアプローチ手法の開発に関する研究	1-5	P.24
13:20	13:24		統合	環境保全につながる経済活動を行うことと企業価値との相関に関する実証研究	1-6	P.25
13:24	13:30			質疑応答(6分:6課題)		
13:30	13:34	②	統合	ネイチャーポジティブ経営の実現に資するライフサイクル影響評価手法の構築に関する研究	1-7	P.25
13:34	13:38		統合	企業と地域のネット・ゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブへの移行評価モデルの開発	1-8	P.26
13:38	13:42		統合	復興再生土の受容性向上に向けたリスクコミュニケーション及び放射線リテラシー教育に関する具体的手法の設計	1-9	P.27
13:42	13:46		統合	帰還困難区域の区域解除を見据えた持続的土地利用の評価	1-10	P.27
13:46	13:50		統合	大規模災害時に発生する大量の災害廃棄物を効率化・省人化して処理する仕組みの構築	1-11	P.28
13:50	13:54		統合	底質MicPの動態モデルの構築	1-12	P.28
13:54	14:00			質疑応答(6分:6課題)		
14:00	14:04	③	気候変動	気候変動緩和策における1.5℃目標達成のためのCDRの導入分析モデルの開発	2-1	P.29
14:04	14:08		気候変動	地域電源としての営農型太陽光発電の普及に向けた発電と農業の関連性に関する研究	2-2	P.30
14:08	14:12		気候変動	地域特性を踏まえた熱中症死亡削減目標の地域別達成可能性及び必要対策量の評価	2-3	P.30
14:12	14:16		気候変動	地域間、適応策間での比較可能性を考慮した気候変動影響及び適応策に関する研究	2-4	P.31
14:16	14:20		気候変動	水循環に係る気候変動適応効果及び生物多様性保全等のシナジー効果の定量評価手法の開発	2-5	P.31
14:20	14:24		気候変動	超小型衛星による温室効果ガス排出源観測・解析技術の開発	2-6	P.32
14:24	14:28		気候変動	超高分解能モデルを用いた短寿命気候強制因子に係る気候変動・大気汚染の評価	2-7	P.33
14:28	14:35			質疑応答(7分:7課題)		
14:35	14:39	④	資源循環	資源循環施策によるGHG削減効果の定量評価研究	3-1	P.33
14:39	14:43		資源循環	廃棄物由来 CO2 の活用技術の研究開発	3-2	P.34
14:43	14:47		資源循環	再生プラスチック・バイオプラスチックの活用促進に向けた環境特性の表示やコミュニケーション及び認証制度に関する研究	3-3	P.34
14:47	14:51		資源循環	紙おむつの再生利用に資する研究	3-4	P.35
14:51	14:55		資源循環	循環経済への移行に伴う効果の定量的把握に関する研究	3-5	P.35
14:55	14:59		資源循環	POPs含有廃棄物の適正処理に資する分解処理方法等の検討	3-6	P.36
14:59	15:05			質疑応答(6分:6課題)		
15:05	15:09	⑤	自然共生	島嶼における希少種保全のための貝食性外来ブラナリア類等の防除手法の社会実装に向けた技術開発	4-1	P.36
15:09	15:13		自然共生	適切な管理に向けた科学的かつ効果的な第二種特定鳥獣のモニタリング及び捕獲手法の開発について	4-2	P.37
15:13	15:17		自然共生	国際協力による保全が必要な渡り鳥の飛翔経路や利用環境等の生態解明に関する研究	4-3	P.38
15:17	15:21		自然共生	サンゴの白化防止技術及び幼生供給技術の確立と社会実装手法検討研究	4-4	P.38
15:21	15:25		自然共生	自然関連財務情報開示に対応する生物多様性の変化量の迅速かつ精緻な評価手法開発に関する研究	4-5	P.39
15:25	15:29		自然共生	希少野生動植物の取引規制の保全効果等に関する科学的評価	4-6	P.40
15:29	15:33		自然共生	侵略的外来種の侵入リスク評価、被害予測、効果的・効率的な防除手法等の開発	4-7	P.40
15:33	15:37	⑥	自然共生	日本に生息する野生生物の絶滅のおそれの評価基準に関する調査研究	4-8	P.40
15:37	15:45			質疑応答(8分:8課題)		
15:45	15:49		自然共生	生物多様性情報学を基礎とした全国的なネイチャーポジティブ統合指標及びデータ解析基盤の開発	4-9	P.41
15:49	15:53		自然共生	世界自然遺産西表島の照葉樹林深部や急傾斜地等における効率的なノヤギ防除手法の開発	4-10	P.42
15:53	15:57		自然共生	普通種を含む野生生物を指標とした生態系の健全性の向上に関する研究	4-11	P.43
15:57	16:01		自然共生	北海道東部・根釧地域における自然草原の生物多様性及び地域産業の持続可能性に関する研究	4-13	P.44
16:01	16:05		自然共生	情報処理技術を活用した登山道荒廃対策に係る実用的なモニタリング技術開発	4-14	P.44
16:05	16:09	⑦	自然共生	小笠原諸島の遺産価値の再評価のための島弧・大陸形成過程に関する実証的研究	4-15	P.45
16:09	16:13		自然共生	全国の半自然草原における生物多様性保全と気候変動対策の両立に向けた研究	4-16	P.46
16:13	16:20			質疑応答(7分:7課題)		
16:20	16:24		安全確保	ヒューマンバイオモニタリング（HBM）の高効率化に向けた生体試料の分析およびばく露解析方法の開発	5-1	P.46
16:24	16:28		安全確保	NAMsを活用した魚類慢性毒性予測及び予測無影響濃度導出のための包括的評価手法の開発	5-2	P.47
16:28	16:32		安全確保	化学物質による健康影響に係る地域診断支援手法の開発	5-3	P.48
16:32	16:36		安全確保	生活環境における化学物質ばく露によるアレルギー増悪等に係る免疫影響評価	5-4	P.48
16:36	16:40	⑧	安全確保	バイオアッセイを用いた環境中における化学物質による水生生物への影響の実態把握からその原因物質の特定までの包括的研究	5-5	P.48
16:40	16:44		安全確保	水域における化学物質負荷の分布と生態系応答の統合評価による管理手法の開発	5-6	P.49
16:44	16:48		安全確保	農業の生態リスク低減を実現する統合指標の開発	5-7	P.49
16:48	16:55			質疑応答(7分:7課題)		
16:55	16:59		安全確保	適切な花粉飛散情報発信のための研究開発	5-8	P.50
16:59	17:03		安全確保	有害大気汚染物質に関する環境目標値設定及び排出削減対策に係る費用便益分析手法開発	5-9	P.51
17:03	17:07		安全確保	睡眠影響に関する騒音暴露量と妥当性のある客観的な心理・生理反応関係の把握	5-10	P.51
17:07	17:11	⑨	安全確保	大気汚染物質濃度の高度別観測及び短期的な予測精度の向上	5-11	P.52
17:11	17:15		安全確保	悪臭防止に資する嗅覚測定法の改善に向けた研究・技術開発	5-12	P.52
17:15	17:19		安全確保	より実環境に即した的確な土壌環境評価分析手法の検討	5-13	P.53
17:19	17:23		安全確保	良好な環境の創出のための土壌の公益的機能に係る評価指標及び評価手法の開発	5-14	P.54
17:23	17:30			質疑応答(7分:7課題)		
17:30	17:34		安全確保	水道要検討項目及び水環境要調査項目に該当するPFAS等に関するリスク評価に資する有害性研究	5-15	P.55
17:34	17:38		安全確保	PFASの簡易・迅速・廉価・連続的な分析技術の開発及び連続的なモニタリング技術の開発	5-16	P.55
17:38	17:42	⑩	安全確保	PFASに特徴的な物理化学的性質に着目した、コスト・エネルギー面で効果的・効率的な除去技術・分解処理技術の開発	5-17	P.56
17:42	17:46		安全確保	スクリーニング分析法等の活用による、効率的かつ持続可能な新たな水環境監視体系の構築	5-18	P.56
17:46	17:50		安全確保	水源から蛇口の水まで、農薬類の一体的なリスク管理	5-19	P.57
17:50	17:54		自然共生	衛星リモートセンシング技術を活用した現存植生図の時点統一化及び衛星植生図の差分更新アルゴリズム構築	4-12	P.43
17:54	18:00			質疑応答6分:6課題)		
18:00				閉会		